

大阪市議会 日本共産党議員の質問から

学童と学校の連携を密に

教育子ども委 山中智子議員が質問

教育子ども委員会(2月24日)で山中智子議員が、採択を主張しました。放課後児童クラブは、大阪市西成区では昨年(学童保育)に通う子どもたちの安全の確保など

を求め、陳情を取り上げた。大阪市の学童保育は、学校外で運営しているため、災害時や非常時の対応では、学校との連携を密にすることが切実な課題になっています。



山中智子議員

山中氏は、地域によっては「個人情報関係で児童の情報が共有されない」という声も出ています。市教委は「情報交換・共有は重要」と答弁。子ども青少年局は、「連携の進め方はさまざまであることから、共通の考え方を示し、取り組みを後押ししていくことが必要」と答えました。

山中氏は「学童保育は留守家庭児童が『ただいま』と帰り、指導員が『おかえり』と迎える生活の場であり、児童いきいき放課後事業とは違うもの。待機児がいないと決め付けず、ニーズ調査を行ってほしい」と求めました。

山中氏は「学童保育は留守家庭児童が『ただいま』と帰り、指導員が『おかえり』と迎える生活の場であり、児童いきいき放課後事業とは違うもの。待機児がいないと決め付けず、ニーズ調査を行ってほしい」と求めました。

山中氏は「学童保育は留守家庭児童が『ただいま』と帰り、指導員が『おかえり』と迎える生活の場であり、児童いきいき放課後事業とは違うもの。待機児がいないと決め付けず、ニーズ調査を行ってほしい」と求めました。